

刺し子教室

刺し子の魅力と楽しさを学んだ、刺し子教室についてご報告します。

日 時	①令和元年10月4日（金）午後1時30分～3時30分 ②令和元年11月1日（金）午後1時30分～3時30分 ③令和元年12月13日（金）午後1時30分～3時30分
場 所	①南那須公民館 第1会議室、 ②③烏山南公民館 201会議室
講 師	滝田 まあゆ 氏
参 加 者	①13名、②12名、③13名
費 用	材料費：初心者970円、経験者1,337円

【刺し子とは…】

藍色の布に白い糸で線を描くように刺しゅうする刺し子は、日本に古くから伝わる伝統的な刺繍です。厳しい寒さを凌ぐために防寒、補強として、衣料に刺し子をしたことが始まりと言われています。

今では刺し子本来の防寒や補強の役割は薄れていますが、花ふきんやクッション、バッグなどに刺し子の伝統模様は使用され、ちくちくと刺し進めていく時間は何も考えず無心になれると、若い人たちの間でも人気です。



【講座の内容】

講座は、初心者と経験者に分かれ、講師の滝田まあゆさんの指導で実施しました。

初心者のグループは、用意した資料に従い、チャコペンを使って図案を布に写す作業からスタートです。図案を布に写したら、刺し始めから刺し終わり、糸のつぎ

方など、基本的な刺し方を学びました。縦と横、斜めに糸を通していく作業を繰り返すと、やがて美しい模様が現れてきます。同じ図案でも、布と糸の色によって印象がかなり違う作品に仕上がりました。

経験者のグループは、第1回に「花菱模様」、第2回は「紗綾形算くずし」、第3回は「角七宝模様」と、各回模様の違う刺し子に取り組みました。

図案を描き写すだけでも時間がかかり、講座の時間内には完成することはできませんでしたが、参加者の皆さんはそれぞれ家庭に持ち帰り、仕上げることができました。



【まとめ】

単純な縫い目でも、素朴で愛らしくて、なんだかハマってしまう魅力を持っている刺し子。針と糸と布があればチャレンジできる簡単さと、暮らしの中に取り入れやすいことも人気の一つと言えるでしょう。

また、刺し子の伝統柄には、子どもの成長を願う「麻の葉」、人との縁・円満を意味する「七宝」など、どの柄も意味を持ち、願いが込められています。一針一針、大切な家族の幸せを想い施した刺し子は、世界に一つしかない素敵な作品になりますね。

参加者の皆さんからは、「楽しかった」「家庭でも続けていきたい」との声が多くあり、来年度の講座開催も検討中です。無心になって没頭できる刺し子に、皆さんも挑戦してみたいはいかがでしょうか。